



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER 3 スリーエム仙台市科学館  
社会教育指導員 石川 歩さん



普段は、ボランティアスタッフと一緒に、体験コーナーで科学工作や実験を行っています。お客様の科学に触れた瞬間の驚きの表情を見ることができた時、達成感や嬉しさを感じます。とはいえ、遠足等で来館する大勢の子どもたちと夢中になって接していると、汗だくになって声が枯れてしまうこともしばしば。そんな時は、屋外の自然観察デッキへ。デッキから隣接の台原森林公園を眺望し、空の色、森の香り、虫の声、季節の風を体感しながら呼吸を整えます。でも、逆に森(鳥の声)に誘われてしまうこともあり、翌朝は早起きして科学館周辺を散歩します。

ある朝、館長室の前の木にアオゲラ(キツツキの仲間)がやってきて、幹をコンコンと叩いていました。窓の中の館長はまだこのアオゲラの存在に気づいていないだろう、そして、アオゲラは私の視線に気づかず食事を続けている・・・、自分だけの観察の時間を満喫しました。

研究室では、「駐車場にハクセキレイの巣を見つけたよ」、「昆虫を探していたらコジュケイの親子に遭遇したよ」、「見慣れない白い鳥がたくさん飛んで来たよ」など、科学館周辺の鳥情報が飛び交うことがあります。身近な自然の情報を整理して、いつかお客様にご紹介し、発見の喜びを共有できたらと思っています。



10月27日(金)～1月24日(水) ※12月28日から1月4日は休館  
小企画展「昆虫標本展～高橋雄一コレクションと宮城の絶滅危惧種～」



SMMAとは  
知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

ミュージアムユニバース  
すてき・ふしぎ・おもしろい  
2017年12月15日(金)～17日(日)  
せんだいメディアテーク 入場無料

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局  
SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるおきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。 www.smma.jp

発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)  
電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp  
編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2017年11月21日 掲載した記事・情報は発行日の段階のものです。この紙はリサイクルできます

# 2017冬号 見験楽学 便覧



## ミュージアム de ブレイクタイム

### SPOT セルコホーム ズーパラダイス八木山

2017年7月にオープンした「ふれあいの丘」は、動物たちとふれ合える体験ができる「ふれあい館」、レストラン「グーゲーテラス」からなる注目のエリア。かわいい動物たちと過ごす時間で癒しのひと時を過ごしてみは?

#### ふれあい館

動物たちをより身近に感じられる、さまざまなイベントを毎日実施。おやつをあげたり、お世話したりしながら、直接ふれ合うことができる、おたのしみスポットです。



- おやつをあげよう ヤギ11:30～、ウサギ13:30～ ※1カップ100円、なくなり次第終了
- ふれあいタイム ウサギ 10:30～11:00  
モルモット 14:00～14:30  
ヤギ・ヒツジ 10:00～11:30  
13:30～15:00



- フリーフライト 13:00～ 「フリーフライト」では、風によって飛ぶルリコンゴウインコの姿を目の前で見ることができます

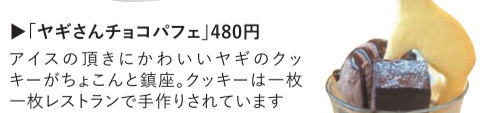
#### グーゲーテラス

本格ピザやパスタ、しろくまモチーフのランチプレートなどのメニューを味わうことができるレストラン。コーヒーなどのドリンク、園内初の生ビールやワインのアルコール提供もあります。食券機脇の物販コーナーでは、飼育員が動物たちの落とし物などを活用して作ったオリジナルグッズを販売。ユニークなアイテムに出合えます。

■営業時間/10:30～16:00(食事は11:00～15:30)



◀「蔵王モッツアレラチーズのマルゲリータピザ」800円  
程よい酸味のフレッシュなトマトソース、ミルクでコクのあるモッツアレラチーズがたっぷり。モチモチの生地でお腹も満足な一枚



▶「ヤギさんチョコパフェ」480円  
アイスの頂きにかわいいヤギのクッキーがちよこんと鎮座。クッキーは一枚一枚レストランで手作りされています



◀シカの角のネックレスやレッサーパンダがかじった竹のストラップ、キリンがかじった枝のストラップなど、動物のおすそわけをお土産にどうぞ



### 菊地公一 (1941～)

昭和16(1941)年仙台市生まれ。昭和39(1964)年東北大理学部卒業、昭和44(1969)年東北大学院理学研究科博士課程修了、東北大理学部助手・助教授を経て平成6(1994)年に北里大学教授に。北里大学名誉教授、東北福祉大学特任教授。2013年に開館した鉄道模型館館長に就任し、現在。



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

#### リタイアしてからのめりこんだ 魅惑の鉄道模型の世界

2006年に退職し、何か新しい趣味を…ととり着いたのが幼少から目にしてきた鉄道模型の世界。“こう走らせたらおもしろいだろうな”と考えて作っていくことに魅力を感じ、あっという間に自宅の8畳の客間をレイアウトで一杯にしてしまいました。その後、2007年に開館した東北福祉大学・鉄道交流ステーション展示室のNゲージ(レール間隔9mm、縮尺1/150)模型の改造やメンテナンスに携わるように。

#### 子どもたちを笑顔に 先輩の遺志を受け継いで

菊地さんが館長をつとめる鉄道模型館の誕生は、大学の先輩である松本歯科大学教授・故盛田正治理学博士が収集していたドイツ・メルクリン社の鉄道模型の寄贈がきっかけ。盛田博士が夢見ていた子どもたちと一緒に楽しめる模型館づくりを受け継ぎ、菊地館長が設計・制作したのが現在の鉄道模型館です。地上線のみならず、ループ線、登山線など、作り続けたレールは総延長350mに。「まだまだ試したいことがいっぱい」と、尽きることのない探求心が世界に一つしかない場所を生み出しています。



▲電気方式の異なるヨーロッパ車両(交流式)と日本車両(直流式)が並んで走行



▲25回のスイッチバックを繰返す登山線

#### ここでもっと知る!

東北福祉大学 鉄道交流ステーション 鉄道模型館(TFUスカイトレイン)  
〒981-8501 仙台市青葉区国見1-19-1 ステーションキャンパス館3F  
☎ 022-728-6612  
🕒 10:00～16:00(模型館は11:00～16:00)  
※模型館は企画展開催週の土曜のみ開館  
📅 日・月曜、祝日、大学の定める休業日  
🆓 入館無料